

# 映画の

# 鏡

## 歴史の闇に迫る証言

### 「沖繩スパイ戦史」

陰湿な相互監視は悲劇生む



アが蔓延する西表島に隔離。波照間島民は3分の1の約500人が命を落とした。今、宮

秘密保護法に続き、政府は憲法改正に前のめりだ。沈黙してはいけない。人々が語る証言映像から伝わる「戦はこりこりだ」との思い。それを受け止めるのは私たちの問題だ。

軍は、少年と家族、住民を利用するが守らない。「裏切り」を恐れスパイと疑い処刑する。住民同士が監視、密告しあう悲劇が生まれた。

今、緊急事態宣言の下、灯りがついていただけで「自粛しろ。警察に通報する」と店への貼り紙。窓ガラスを割られた事例もある。横行する陰湿な相互監視は戦前、戦中社会に戻ったかのようだ。自由な言論の場が狭まっていく。だからこそ見たい作品だ。2018年公開。

樋口みな子（ミニコミ紙「銀河通信」主宰）

悲惨な「戦争マラリア」地獄を生んだ住民強制移住の軍命。スパイを疑った虐殺。陸軍中野学校の「秘密戦」と少年ゲリラ兵育成。三上智恵さん（写真左）、大矢英代さん（同右）共同監督のジャーナリズム魂に溢れる作品は、沖縄戦の戦後70年以上にわたる闇に迫る。

「隊」として組織し、秘密戦のスキルを仕込んだ。目的は国体護持。本土決戦の時間稼ぎの少年ゲリラ兵組織化だ。将校たちは米軍の進路遮断を狙い、中北部の橋のほとん

どを爆破。避難路を絶たれた住民たちの大量餓死を招いた。八重山諸島では、波照間などの住民をマラリア

古島や石垣島では自衛隊のミサイル部隊配備が進む。集団的自衛権、特定

今、緊急事態宣言の下、灯りがついていただけで「自粛しろ。警察に通報する」と店への貼り紙。窓ガラスを割られた事例もある。横行する陰湿な相互監視は戦前、戦中社会に戻ったかのようだ。自由な言論の場が狭まっていく。だからこそ見たい作品だ。2018年公開。

樋口みな子（ミニコミ紙「銀河通信」主宰）

新製コナウェイレスリ

各苗子、木葉更青等こよ

与自台本り取り且みこ主

大反でまメディアこ重

主見する必要がある。

欠言よ「今でまよハ

耳が之付をアニーレ、ソ